

ろ 論理的に考え 協同して学ぶ生徒

★「何を学んでいるのか」「どのように学んでいるのか」「何がわかり、できるようになったのか」を自覚できる学習指導を推進します。

★学習内容の定着のために、学年に応じた家庭学習習慣の確立を支援します。



〈授業の様子〉

成 果	教育・運営活動
<p>1 「授業が分かる」生徒を増やします。 (「授業が分かる」生徒が全教科市平均以上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 全教員が授業公開をする等、一人一実践に取り組みます。 ● 授業の学習課題を明示し、まとめ・振り返りを充実させます。
<p>2 授業で自分の考えをアウトプットできる生徒を増やします。 (「自分の考えを進んで伝えている」生徒が88%以上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 学び合いの場面を意図的・計画的に授業に取り入れ、「生徒自身の考えを深め整理する力」を育成する授業を進めます。 ● GIGAスクール構想に基づきICTの活用に努めます。
<p>3 家庭学習の習慣を身に付けさせます。 (学年の目標時間を達成した生徒が85%以上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業と結びついた家庭学習ができるように、宿題や小テスト等を工夫します。 ● 終学活時に、生活ノートに家庭学習の計画を記入させ、家庭学習の習慣化を図ります。(当校の目標家庭学習時間 1学年80分 2学年100分 3学年120分)

さ さわやかにあいさつを交わす生徒

★自ら進んで気持ちのこもったあいさつができるよう支援します。

★学校を離れても、地域の人たちへ積極的にあいさつできるよう支援します。



〈あいさつ運動〉

成 果	教育・運営活動
<ul style="list-style-type: none"> ● 元気なあいさつを学校生活の基盤とし明るく、誰とでもあいさつを交わすことができる学校を目指します。 (「自分からあいさつしている」と答える生徒が90%以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 誰とでもあいさつを交わすことができる学校を目指し、朝のあいさつ運動、部活動におけるあいさつの励行を通し、生徒を中心としたあいさつ向上への取組を支援します。 ● より良い人間関係を構築することで、あいさつを活発化させていきます。

き 気力・体力の充実した生徒

★自らの健康に関心をもち、望ましい生活習慣や運動をとおして健康づくりを推進します。



〈R4体育祭〉

成 果	教育・運営活動
<p>1 体力テストの結果を向上させます。 (2、3年生の体力テストで全国平均を上回る項目が50%以上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 運動能力向上のため、技能や体力の伸びが実感できるよう、保健体育授業の補強的トレーニングや体ほぐし運動を工夫します。 ● 体力テストの結果から課題を見付け、その解決に向けて取り組みます。
<p>2 毎日のメディアに接する時間を自分で考え、減らします。 (1日でテレビ、ゲーム、PCや携帯などの画面を2時間以上見ている生徒が50%以内)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 終学活時に、家庭での時間の使い方に見通しをもたせ、メディアに接する時間を生徒自身に考えさせます。 ● アウトメディア週間を設け、メディアに接する時間を把握し、意識をもたせます。また、小学校とも連携しアウトメディア週間を設定し、家庭とも連携します。